

## (8) 英語教育研究会

会 長 田辺 長美 (中筋中)  
副会長 山沖 美保 (大川筋中)  
事務局 石崎 千波 (下田中)

### 1. 研究主題 「学力定着のための指導法の研究 ～外国語発信力をふまえた表現力向上を目指して～」

### 2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和元年 5月8日(水)	四万十市教育研究会 組織総会 内容：役員選出、研究主題設定、年間計画	中村南小学校	21名参加
7月31日(水)	四万十市教育研究会 夏季研修会 内容： ・GTEC 事前説明・指導案検討 教材研究 ・講義 演習「授業改善に向けての工夫」 講師：松本 桂 指導主事 (西部教育事務所)	中村中学校	22名参加
11月13日(水)	四万十市教育研究大会 (公開授業) 1年「Program8 Origami」 「Program7 The Wonderful Ocean」 「POWER-UP 5 Speaking」 授業者 グダーニ 藍 教諭 (中筋中)  (講話) 講 師 松本 桂 指導主事 (西部教育事務所)	中筋中学校	21名参加

### 3. 四万十市教育研究会 夏季研修会

#### ① 2学期実施の GTEC 事前説明

- ・実施に向けての教材や活用方法、実施手順について説明・質疑応答
- ・タブレットを活用して4技能の形式の体験

#### ② 指導案検討 教材研究

- ・「道案内」に関して、単元ゴールとしての言語活動や評価について協議
- ・ALTに四万十市内を案内する場面や表現、指導内容の情報交換

#### ③ 講話

- ・単元ゴールや具体的な課題の設定、コミュニケーションの目的・場面・状況を意識した活動、言語活動の繰り返しなど授業改善に向けた取組の重要性についての講話

### 4. 令和元年度四万十市教育研究大会

#### (1) 授業者より

- ・四万十市の魅力を「やり取り」しながら伝える、という単元ゴールに向けて small step で取り組んできた。「やり取り」の概念については説明し、授業の中に取り入れてきたので生徒たちは積極的に「やり取り」をしようとしている。既習内容を活用した「やり取り」ができていたので、エラーチェックより、エンディングまでいくことを優先した。
- ・今回は、質問や疑問文のエラーチェックをしていきたい。

## (2) 参観者より

### <良かった点>

- ・「めあて」を ST(Student Teacher 教科担当)に決めさせており、授業者が意図した方向に導いている。
- ・授業者の情報の与え方が良かった。「(メルボルンについて) 魅力的に伝えるためには、どんなことを伝えたらよいか」という確約(おさえ)があった。
- ・ゴールに向けて積み重ねている。(small step で既習事項の定着が見られた。)
- ・語順カードを見ながら、自然に文法を説明したり、エラーチェックができています。
- ・自分の言いたいことを自分の選んだ言葉で伝えている。学年の文法にこだわらず、いろんなところで、より良い表現を導いていた。⇒表現の幅が広がっていた。
- ・毎回語順をチェックし、英語で表現する時は主語を入れることに気づかせている。いろんな主語を使わせている。⇒定着につながる。

### <改善点>

- ・やり取りの活動であるため、質問を意識させることや、表現方法の指導の工夫も必要である。
- ・ST(Student Teacher 教科担当)が活躍できる場面を工夫する。

### <改善策>

- ・疑問詞カードを活用し、small talk など、疑問詞を使用する場面を工夫する。また、「話す意味がある、伝えたい、伝える必要のある」言語活動を仕組み、質の高いやり取りをめざす。
- ・ST(Student Teacher 教科担当)が使える表現を導入することで活躍の場を増やす。

## (3) 講話(西部教育事務所 松本 桂指導主事)

- ・H31 年度全国学力・学習状況調査質問紙から見える西部管内の現状と授業改善について
- ・中学校外国語化 見方・考え方を鍛え、資質・能力を育成する授業に向けて
- ・「中等教育資料」より外国語科の指導と評価について

## 5. 今年度の成果と課題

- ・GTEC にチャレンジできた事は良かった。
- ・研究主題を意識した、指導案検討や研究授業をすることができた。特に、「表現力を高めるための手立て」については、unclear words・エラーチェック・語順の徹底・教員の英語使用率等、具体的な取組を共有することができた。
- ・Do-learn Do-again の授業スタイルの実践について協議する中で、書く力をつけるための手立て(話したいことを書く→チェックのサイクル化・書くこと、話すことを繰り返す等)を共有することができた。今後の実践に活かしていく。
- ・各研修会でALT の参加があり、ALT の視点から英語表現や指導のアドバイスを聞くことができた。
- ・単元ゴール一覧表を四万十市内で共有したり、作成したりすることで四万十市全体の英語指導力の向上につなげていきたい。

